

2025年 第27週 6月30日～7月6日

西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



管内の発生動向及び定点把握対象疾患 ()は内訳又は前週値

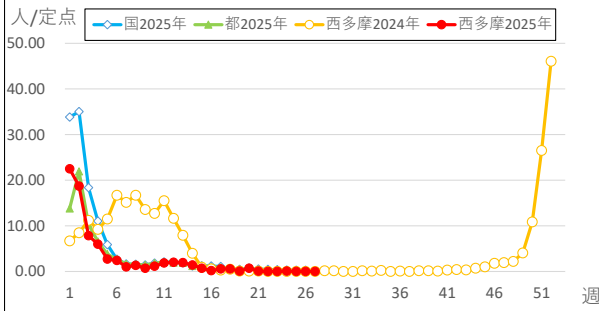
・全数届出の疾患は、腸管出血性大腸菌感染症1件（5歳未満）、梅毒1件（70代女性）、百日咳12件（5～9歳2件、10代8件、40代2件）、麻しん1件（20代）の発生がありました。

・定点報告は、水痘は0.25（0.38）、伝染性紅斑は0.75（0.63）でいずれも昨年より多い状況が続いています。ヘルパンギーナは0.25（0.00）で前週より増加しました。

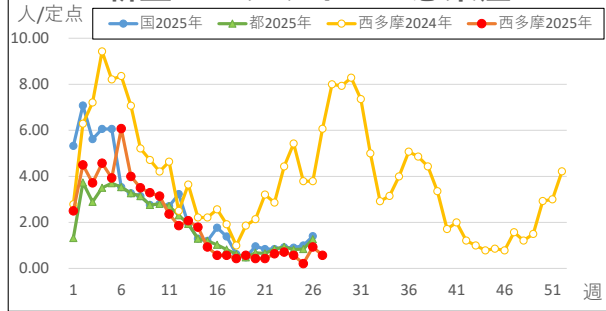
管内の感染症集団発生状況 ()は内訳

・疥癬1件（高齢者入所施設）の報告がありました。

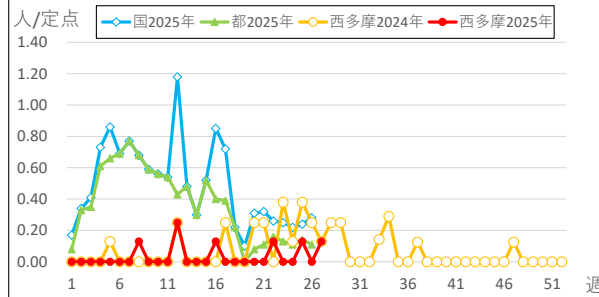
インフルエンザ



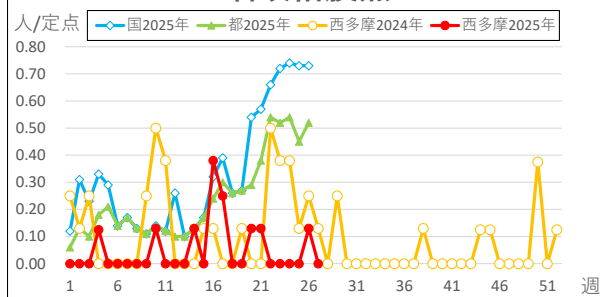
新型コロナウイルス感染症



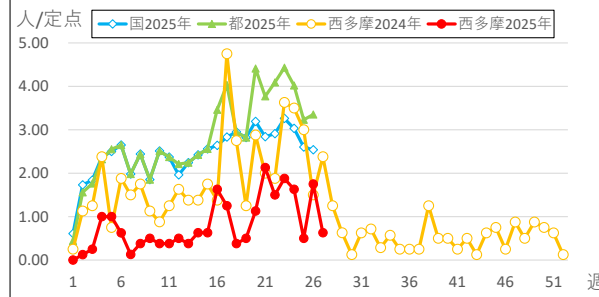
RSウイルス感染症



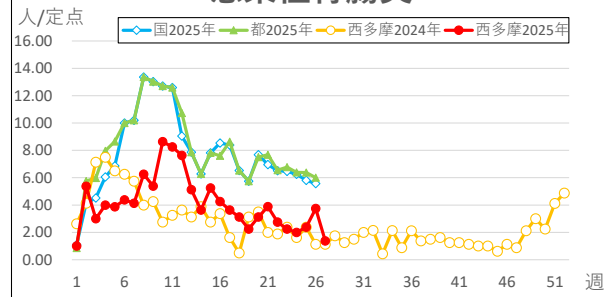
咽頭結膜熱



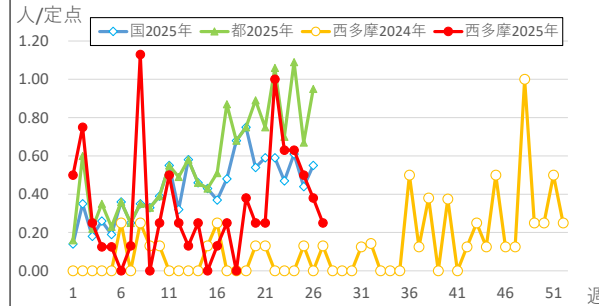
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



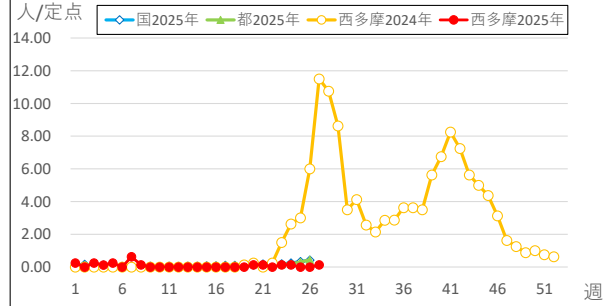
感染性胃腸炎

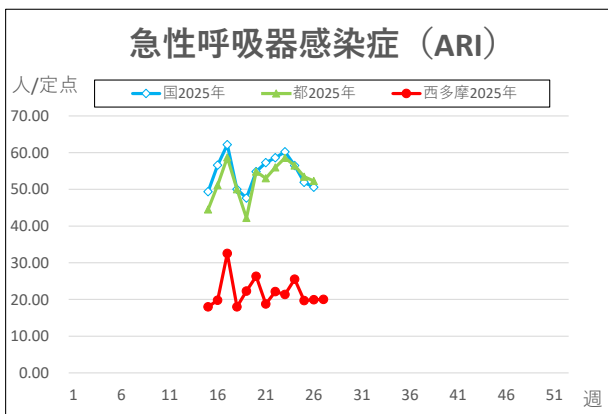
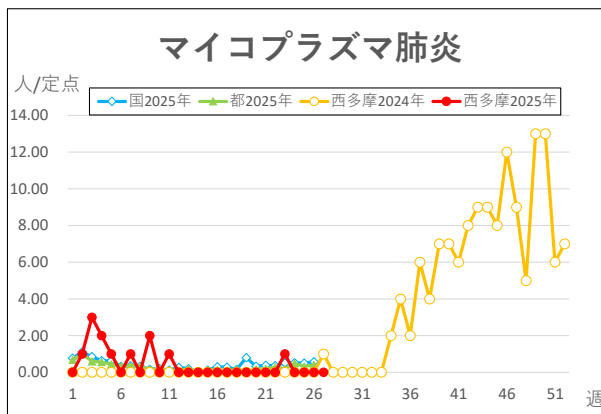
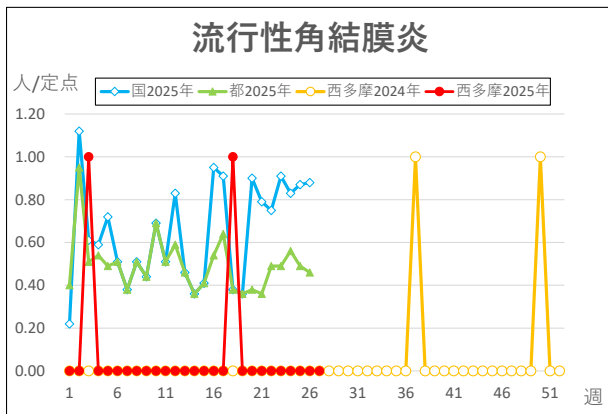
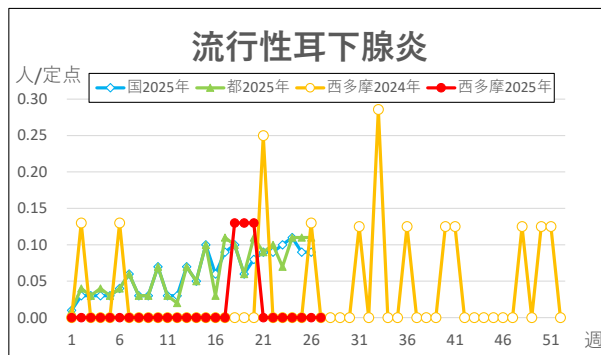
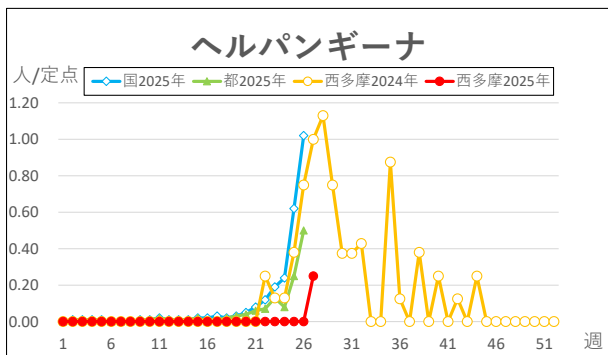
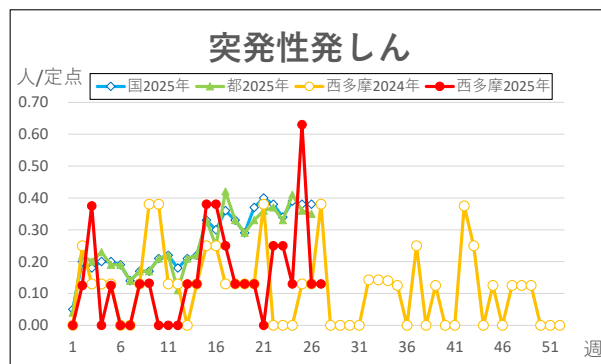
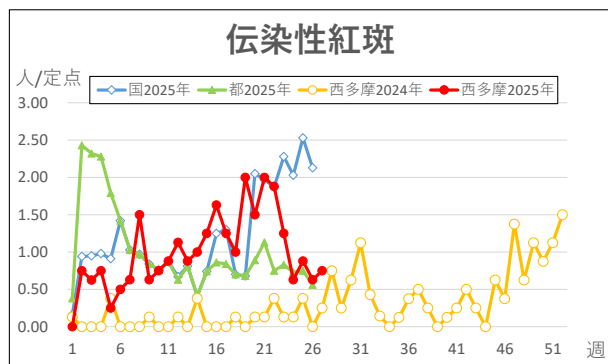


水痘



手足口病





今週のトピックス ～ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ～

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症とは

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE）感染症は、メロペネムなどのカルバペネム系薬剤及び広域β-ラクタム剤に対して耐性を示す腸内細菌目細菌による感染症の総称です。

原因と感染経路とは

主に感染防御機能の低下した患者や外科手術後の患者、抗菌薬を長期にわたって使用している患者などに感染します。

症状

肺炎などの呼吸器感染症、尿路感染症、手術部位や外傷部位の感染症、カテーテル関連血流感染症、敗血症、髄膜炎など、菌の種類、感染箇所により多様な感染症を起こします。

無症状で腸管等に保菌されることも多くあります。

予防のポイント

健康な人への感染はほとんど心配ありません。病院に入院している人を見舞うなどの際には、手洗いと消毒をしっかりと行うようにしましょう。

院内感染対策として、ドアノブ、手すりなど手が触れる場所の清掃・消毒により院内の環境を清潔に保つことや、人工呼吸器などの医療器具の消毒や手洗いを徹底することが重要です。

基礎疾患のある方は、基礎疾患の治療を適切に行うことも感染予防のために大切です。

感染症法との関係

感染症法では、五類感染症（全数把握対象）として定められており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所へ届け出ることが義務づけられています。ただし、感染症を発症している患者のみが対象で、無症状の保菌者は届出対象ではありません。

※詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

東京都感染症情報センター「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」

<https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/cre/>

今週のトピックス ～ 百日咳 ～

百日咳とは

- ・病原体は百日咳菌
- ・症状としては、特徴的な咳（発作性・連続性の咳など）や症状（無呼吸発作など）を呈する、あるいは長引く咳が見られる。
- ・乳児で重症化しやすく、肺炎、脳症を合併し、まれに致死적
- ・東京都は、2025年第26週の患者報告数は262件
- ・東京都は、2025年第15週以降は12週連続で週当たり100件を超える報告数
- ・西多摩保健所管内は、2025年第27週までの報告数は116件で、昨年の報告数15件を超える。

「東京都感染症マニュアル2018」の「百日咳」のページが更新されました

・主な更新箇所

感染経路：同居家族（特に兄弟姉妹）が早期乳児の感染源になる。

臨床的特徴：特徴的な咳など

拡大防止：日本小児科学会、日本産婦人科学会の推奨について情報提供

治療方針：マクロライド耐性の百日咳に対する抗生剤の処方例について情報提供

※詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

東京都保健医療局「百日咳とは」

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/kansen/info/pertussis/pertussis>

百日せきにご注意ください

※詳しい情報は下記のサイトを御覧ください。

厚生労働省「百日咳」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数

	20週	21週	22週	23週	24週	25週	26週	27週	1週目からの累計
新型コロナウイルス感染症	6	6	9	10	8	3	13	8	755
インフルエンザ	10	1	0	0	1	0	0	0	865
RSウイルス感染症	0	0	1	0	0	1	0	1	7
咽頭結膜熱	1	1	0	0	0	0	1	0	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	17	12	15	13	4	14	5	173
感染性胃腸炎	25	31	22	18	16	19	30	11	878
水痘（みずぼうそう）	2	2	8	5	5	4	3	2	70
手足口病	1	1	0	1	1	0	0	1	17
伝染性紅斑	12	16	15	10	5	7	5	6	211
突発性発疹	1	0	2	2	1	5	1	1	32
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	2	3
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	1	0	0	0	0	0	0	0	3
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	2

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。

○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。

○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。

○データの出典元は、下記のとおりです、国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。

〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tniph.metro.tokyo.lg.jp/>

国のデータ：国立感染症研究所 <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>